



## 「女人高野」が日本遺産に認定

～「女人高野」をテーマに新たな魅力の創造と地域の活性化を目指して～

河内長野市では、宇陀市（奈良県）、九度山町・高野町（和歌山県）と連携して申請しておりました「女性とともに今に息づく女人高野～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～」が、文化庁から令和2年度の「日本遺産」に認定されました。

本市では、令和元年度の「中世に出逢えるまち～千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫～」に引き続き、2つめの認定となります。

また、本市も連携し、和歌山県が代表して申請していました、『葛城修験』一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」も同時に認定されました。

今後は、文化庁の支援を受けながら、連携自治体と協力して広域観光での誘客、市内外での普及啓発などを行い、地域の活性化を図ってまいります。

### 【文部科学記者会への対応】

事前ブリーフィング：令和2年6月16日（火）15：00～

解禁：令和2年6月19日（金）閣議後大臣会見冒頭発言後

※前日夕方頃に大臣記者会見の時間の発表あり。

### 【ストーリーの概要】

高野山は、近代まで「にょにんけっかい女人結界」が定められ、境内での女性たちの参拝は叶わなかった。そんな時代にあっても女性たちの、身内のめいふく冥福を祈る声、明日の安らぎを願う声を聴いていた、「女人高野」と呼ばれるお寺があった。

優美な曲線を描くお堂の屋根、静かに願いを聴いている柔和なお顔の仏像、四季の移ろいを映す周囲の樹々、これらが調和した空間を『めいしよずえ名所凶会』は見事に実写し、表現した。そこに描かれた「女人高野」は時を超え、時に合わせて女性とともに今に息づき、訪れる女性たちを癒し続けている。

※日本遺産（Japan Heritage）とは、地域の歴史的的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもので、ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことで、地域の活性化を図ることを目的としている。

問合先 電話：0721-53-1111

認定申請・文化財に関すること 生涯学習部 文化財保護課

観光に関すること 環境経済部 産業観光課

※同内容の報道資料は各自治体からその地域の記者クラブに同時配信する予定です。

河内長野市・金剛寺 三尊



宇陀市・室生寺 五重塔



九度山町・慈尊院 乳型の絵馬



高野町・女人道

